

学校教育目標：心豊かに 主体的に行動する生徒の育成
スローガン：絆を大切にし、確かな学力を身につけよう

令和5年 1月18日
No.11
長崎市立大浦中学校
文責 校長

学 校 だ よ り

3 学 期 ス タ ー ト !

3学期が始まりました。少し長い冬休みでしたが、子どもたちが元気に登校できたことをうれしく思いました。しかしながら、今年の始業式はいつもと違う雰囲気での実施となりました。元日に発生した能登半島での地震発生の衝撃が大きかったからです。

子どもたちに震災のことに触れ、次のような話を行いました。

『3学期を迎え、元気な姿の皆さんとまた学校生活を送ることができることを大変うれしく思います。しかし、今年のお正月はたいへんな出来事がありました。

能登半島で発生した地震です。元日にテレビを見ていて速報のテロップが流れました。

皆さんもそのようにして地震が発生したことを知ることになった人もいるのではないのでしょうか。

震度7の地震、波の高さが4mに達するような津波も発生しました。徐々に被害の状況が明らかになってきましたが、多くの亡くなられた方、行方不明になっておられる方がいらっしゃる、とても大きな地震でした。

また、家屋が倒壊し、避難をされている人も多くいます。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、少しでも早く復興することをお祈りしたいと思います。

皆さんは、2学期に地震発生時の避難訓練を行いました。どのような行動をとればよいか、確認をしたところですが、もう1回、再度確認をしておいてほしいと思います。日ごろから、危機管理に対する意識を高めておくこと、命を守る行動をとることを心掛けてほしいと思います。

今回の地震はとても大きな地震でしたが、それより前に東北地方で東日本大震災という大きな地震がありました。この地震も多くの被害が発生したのですが、その時は被災地に、他の都道府県や諸外国から、多くのボランティアの方が復興に向けて、被

災した人々のお手伝いをするために参加しました。このボランティアの方々の活躍は、メディアにも取り上げられました。今度の地震において、わたしたちが少しでも何かできることがあれば、協力していきたいと思います。』

地震発生から2週間がたちましたが、被災地では、中学生が、家族と離れ、集団避難をするところもでてきました。3年生にとっては受験を控え、本当につらい思いをされていると思います。被災地の皆さんが早く元の生活に戻れることを願いたいと思います。

合言葉「3学期 わたしたちは 備える」

今年は辰年です、竜が天に上るように、勢いのある年になればいいなと考えています。

子どもたちが共通の目標をもって生活できるように、3学期も2学期同様に、合言葉を子どもたちに投げかけました。2学期の合言葉は「2学期 わたしたちは 伸びる」でした。多くの場面で子どもたちの伸びる姿を見ることができて、とてもうれしく思いました。

3学期の合言葉は「3学期 わたしたちは 備える」です。

今年度を振り返り、1年間のまとめを行いながら、次の年度へ、進級、進学する準備を進めていってほしいとの願いから設定した合言葉です。次年度にいいスタートがきれるように準備を進めてほしいと思います。



体育館のワークスがけを部活動の子どもたちが行いました。